

2004年9月9日

各位

住友金属鉱山株式会社
三井物産株式会社
双日株式会社

フィリピン ニッケル製錬プロジェクト：試験操業の開始について

住友金属鉱山株式会社(本社：東京都港区 社長：福島孝一)、三井物産株式会社(本社：東京都千代田区 社長：槍田松瑩)、双日株式会社(本社：東京都港区 社長：土橋昭夫)の3社が比国 Rio Tuba Nickel Mining Corporation (リオ ツバ ニッケル マイニング社 社長：Manuel B. Zamora, Jr.)とともにフィリピン、パラワン島リオツバ地区において進めているニッケル製錬プロジェクト(コーラル ベイ ニッケル プロジェクト)は、予定どおり本年8月末にプラントの建設が完了し、このたび試験操業を開始いたしました。

本プロジェクトは、リオ ツバ ニッケル マイニング社のリオツバ鉱山隣接地にHPAL (High Pressure Acid Leach：高圧硫酸浸出)法を採用した低品位酸化鉱の処理プラントを建設し、ニッケル製錬の中間品であるニッケル・コバルト混合硫化物を生産するものです。プロジェクト全体の投資総額は約1.8億米ドル、操業期間は約20年を予定しております。HPAL法は、低品位酸化鉱から低コストでニッケル回収を可能にする、近年開発された画期的なプロセスですが、技術的にはまだ多くの課題を抱えております。住友金属鉱山では独自の改良を重ね、操業上の諸問題の解決を図りました。

2002年4月に現地において上記4社の合弁会社であるCoral Bay Nickel Corporation(コーラル ベイ ニッケル株式会社)を設立して以降、プラント建設、フィリピン人基幹社員の日本における教育の実施などを進めてきましたが、当初の予定どおり本年8月末に処理プラントの建設が完了し、このたび試験操業を開始いたしました。現在、住友金属鉱山より30名以上の技術者を現地に派遣するなど、円滑な試験操業に万全を期しております。本格的な商業生産の開始時期は本年末を予定しており、今後も本プロジェクトの推進に全力を傾注してまいります。

住友金属鉱山にとって、本プロジェクトは主導権をもって海外に進出する重要な意義をもつ事業であり、同社はこのプロジェクトによりニッケル酸化鉱の処理技術、エンジニアリング技術を確立し、世界トップクラスのニッケル製錬メーカーの地位を維持していく所存です。

ご参考

1. コーラル ベイ ニッケル プロジェクト (Coral Bay Nickel Project) の概要

1) 建設場所

フィリピン南西部に位置するパラワン島の南部リオツバ鉱山隣接地

2) 投資総額

約 1.8 億米ドル

3) 生産品および生産量

ニッケル製錬の中間品であるニッケル・コバルト混合硫化物 (Nickel/Cobalt Mixed Sulfide) をニッケル量で年間約 10,000 トン、コバルト量で約 700 トン生産予定

4) 原料

Rio Tuba Nickel Mining Corporation (RTN社) がリオツバ鉱山で採掘したニッケル酸化鉱のうち、低品位ラテライト鉱 (Laterite) は、従来のニッケル回収方法に適さない性状であったことから、約20年にわたり現地に積み立てられたままになっていましたが、HPAL法の導入により、この処理が可能となりました。処理の対象となるラテライト鉱は工場に隣接して約1,600万トンが蓄積されており、本プロジェクトの原料として約20年分の鉱量がすでに確保されていることとなります。

5) インフラ

港湾、道路、病院、住宅などのインフラは、RTN社の既存設備を活用できることから、低コストでの開発が可能です。

2. 本プロジェクトのメリット

1) 合弁会社の生産品について

生産されるニッケル・コバルト混合硫化物は全量を住友金属鉱山が購入し、同社ニッケル工場 (愛媛県新居浜市) において、同社が独自で開発、実用化した世界最新鋭のMCL E (Matte Chlorine Leach Electrowinning) プロセスの原料として処理され、電気ニッケルおよび電気コバルトに製品化されます。

2) プロセスで使用される硫酸について

本プロジェクトでは年間約 26 万トンの硫酸の新規需要が見込まれます。住友金属鉱山では銅製錬事業の増強を進めており、それに伴い副産物として産出される硫酸の販売先が確保されるという点でもメリットがあります。

3. Coral Bay Nickel Corporation (コーラル ベイ ニッケル株式会社) の概要

1) 資本金

587.5 百万フィリピンペソ

2) 株主および出資比率

住友金属鉱山株式会社

54%

三井物産株式会社 18%

双日株式会社 18%

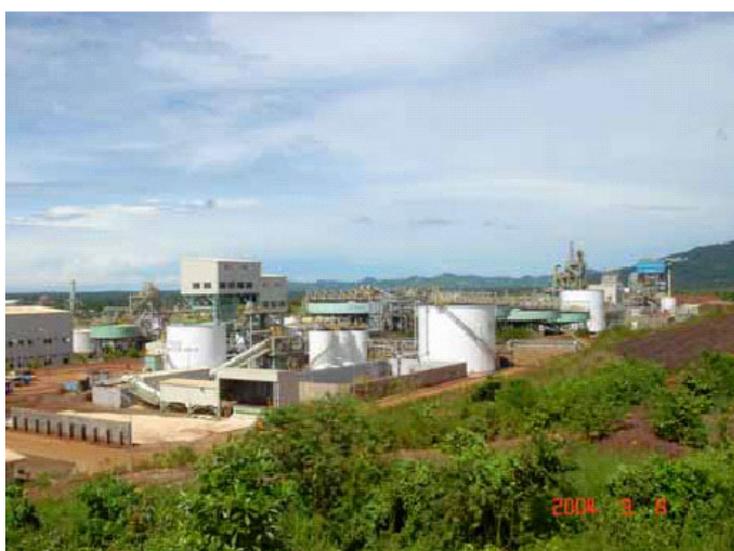
Rio Tuba Nickel Mining Corporation 10%

3) 本社所在地

Barangay Rio Tuba, Municipality of Bataraza, Palawan, The Republic of the Philippines (フィリピン共和国パラワン州バタラサ郡リオツバ)

4) 社長

藤村 隆則



フィリピン ニッケル精錬：プラント全景



フィリピン ニッケル精錬：HPAL工程（オートクレーブ設備）



フィリピン ニッケル精錬：ロケーション

(本件に関するお問い合わせ先)

双日株式会社 広報部 関口 雄一

TEL: 03-5520-3183

以上